

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2025-1-149

課題名 : 変形性関節症者の下肢骨格筋と歩行特徴との関係に関する横断的研究

### 1. 研究の対象

- ・ 当院で変形性膝関節症もしくは変形性股関節症の診断、治療を受けられた方
- ・ 先行研究 (受付番号 : 2022-1-1072、課題名 : インソール型ウェアラブルセンサを用いた歩行特性の解明) に参加された方

### 2. 研究期間

2022 年 11 月 (研究実施許可日) ~ 2026 年 3 月

### 3. 研究目的

変形性関節症例のCT画像から下肢骨格筋の機能評価 (量的評価と質的評価) を行い、患健差による疾患特異的な骨格筋の特徴を示し、また、下肢骨格筋の機能と歩行特徴との関係を明らかにします。

### 4. 研究方法

#### <骨格筋の測定>

変形性関節症者の手術前計画もしくは診療目的のために撮影された CT 画像を用いて、骨盤から足部までの各骨格筋をセグメンテーションし、骨格筋の体積 (cm<sup>3</sup>)、脂肪変性 (%) を算出します。CT 画像の解析は、共同研究である東北大学大学院情報科学研究科計算機構論分野で行われます。

#### <歩行解析>

東北大学病院リハビリテーション室協の動作解析室にて、3 次元動作解析装置を用いて測定します。正確に歩行動作を捉えるために、測定前に身体に密着したボディスーツを着用し、身体のランドマークに反射マーカを貼付します。測定は、床反力が中央に設置している 7m の歩行路を快適速度にて歩行してもらいます。合計 5 試行程度行い、試行間に休息を入れ、疲労や疼痛の有無を確認しながら実施します。測定後、動作解析室にある歩行

解析ソフトで解析をします。また、以前に収集した歩行解析データ（2022-1-1072、課題名：インソール型ウェアラブルセンサを用いた歩行特性の解明）を二次利用します。

## 5. 研究に用いる試料・情報の種類

画像情報：CT 画像、等

身体情報：生年月日、既往歴、患者立脚型質問紙、等

## 6. 外部への試料・情報の提供

本研究に関する CT 画像の解析は、東北大学大学院情報科学研究科計算機構論分野に委託します。CT 画像は、個人情報等に配慮し、個人が特定できないように匿名化し、厳重なデータセキュリティが確保された環境で実施することを規定します。

対応表は、当院の研究担当者が保管・管理します。

## 7. 研究組織

本学単機関研究

## 8. 利益相反（企業等との利害関係）について

本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は、運営交付金と科研費（研究代表者：矢口春木、23K10396、2023 年度 基盤研究(C)、課題名：変形性関節症者の 3 次元下肢骨格筋機能評価による疾患特異的特徴と歩行特徴との関係）を使用し、通常診療の範囲内にて実施します。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、東北大学利益相反マネジメント委員会の承認を得たうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係についての公正性を保ちます。

## 9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

矢口 春木

東北大学大学院医学系研究科臨床障害学分野

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1

平日 022-717-7353

E-mail : haruki.yaguchi.c4@tohoku.ac.jp

研究責任者 :

海老原 覚

東北大学大学院 医学系研究科 臨床障害学分野

〒980-8574

宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL 022-717-7353 FAX 022-717-7355

E-mail: satoru.ebihara.c4@tohoku.ac.jp

#### ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先 : 「9. お問い合わせ先」

#### ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

#### ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

#### ※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合

③法令に違反することとなる場合